

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 レニアス

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田西町小原字袖掛200番地76

(3) 業種

輸送用機器具用プラスチック製品製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和 5 年度を基準年度とし、令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 年間とする。

3 計画の基本的な方向

環境方針

レニアスは「安全と信頼のモノづくり」を通して人と地球に優しい未来を創造します。

- (1) ポリカーボネート及び、アルミ加工で培った技術力を活かし輸送用機器をはじめ自動車、住宅関連、その他各分野で環境に配慮した製品の開発・設計・製造・販売を行い、これらの活動が環境に及ぼす影響を的確に把握し、環境汚染の予防・環境改善に努める。
- (2) 環境活動の推進にあたり、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を定め、計画的な取り組みによって環境保全活動の継続的改善に努める。
- (3) 環境保全に関する法的要求事項を遵守するとともに、必要に応じて自社規定を設定し、環境保全に努める。
- (4) 商品開発にあたっては省資源、省エネルギーなどの環境負荷低減製品の開発、及び設計、製造、サービスの各段階において環境に配慮した技術開発に努める。
- (5) 環境に関する教育活動を積極的に推進し、レニアス環境方針に従業員及び関連する要員に周知させ環境保全に対する理解と意識の向上を図る。
- (6) 当社の環境方針については、一般の人が入手できるよう適切に情報を公開し、社会とのコミュニケーションを図る。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（ 5 ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素	6,751	

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 (5) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	6,751	3.0	200	6,551
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	6,751	0.0		6,751
温室効果ガス みなし排出量		-		6,751
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	ボイラーからの二酸化炭素排出量の削減	0.1%削減	蒸気の使用量の削減
2	太陽光発電	2%削減	電気使用量の削減
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1	燃料使用量の削減	低公害車の導入 アイドリングストップの実施
2		
3		

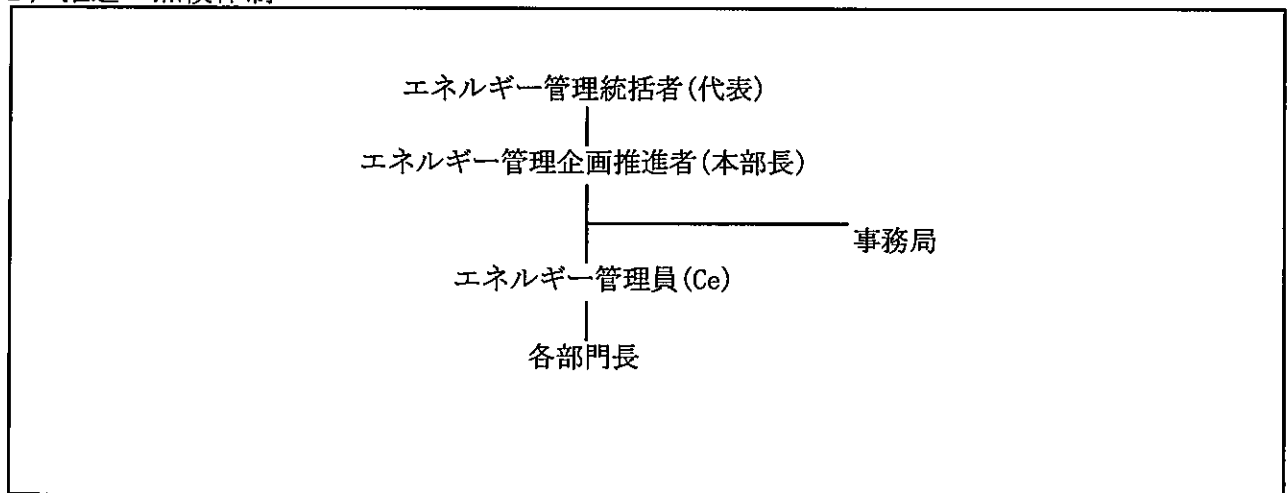
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

エネルギー管理統括者を委員長とした「エネルギー管理委員会」を設置し、エネルギーの使用の合理化及び温室効果ガスの排出の抑制等の諸活動を推進する。

(3) 計画書等の公表

事業所に備えて閲覧可能とする。